

先進地 視察

中津江村

に行っ てき ました

10月29日(日)に、新たな地域コミュニティ組織先進地の「住民自治組織中津江振興協議会(愛称:中津江むらづくり役場)」を視察しました。

人口は減っているが、その中でどう楽しく過ごしていけるかということ、今取り組んでいる事業を中心に説明をいただきました。

基本理念…元気で、楽しく、安心して…生活していくために

目指す形…足りないものは自分たちで補いながら、欲しいものは自分たちで作っていく、何でも相談できる場所を目指す。

やっていくこと

- ・困りごとを解決するために必要なこと。
- ・楽しく生活していくために必要なこと。
- ・資金の確保(行政等の業務受託)



永瀬事務局長のわかりやすい説明で、楽しい研修でした。

- ・どう豊かに暮らしていけるかを考えることが重要。
- ・「我がゴト」として考え、出来ることから一歩ずつ進んでいく。
- ・組織は、元気で楽しく、安心して生活していくための仕組みを、皆で考えていく手段です。
- ・私たちの住む地域に足りないもの、欲しいことなどを改めて考え、その中で組織が必要かどうかを判断すればよい。



裏面もご覧ください。

中津江では、こんなことをやっています！

(取り組みの一部をご紹介します)

○高齢者の見守り(全体)

- ・個別世帯訪問…民生委員や地域支援員と一緒に訪問。
- ・ミニデイサロンでの市報の開き読み。
- ・提出物の作成支援…コロナ給付金の申請、ケーブルテレビの加入手続きなど

○地域限定商品券の発行(なかつえスマイルPAY) (全体)

- ・中津江の商店だけで使える商品券。
- ・事務局長と事務局以外の方が、部会やイベントに参加した回数ごとに渡す。(1回:500円×2枚)

○移動手段の確保(くらす部会)

- ・「デマンドバス」の利用方法の周知を行い、今後の移動手段を考えるきっかけにしよう。

○認知症に関する勉強会(まなぶ部会)

- ・地域での暮らしを守るために、住民でできるサポートを学ぶ。

○月いちバザール(つどう部会)

- ・住民の新たな拠り所として、フリーマーケットを開催。
- ・みんなが気軽に立ち寄って、話せる場所づくりを目指す。

【上浦の参加者の感想】

- ・各取り組みを見ても「自分たちで地域を考える」感じが伝わる。
- ・楽しく安心して暮らすために、出来る限りのことをしていきたい。そう思いました。
- ・小さな地区でありながら、住民が地域振興に関心を持っていることを感じた。(地域愛)
- ・組織の委員になっている方が、負担にならず楽しくやっていけることは、本当に大切なことと思いました。
- ・実際の活動内容を聞いてとても魅力的な内容もあり、上浦でもできたらいいなと思う活動もありました。その反面難しい面もあるのではないかと感じることもありました。

【お問い合わせ先】

- 1 佐伯市役所 地域振興部 コミュニティ創生課 住民自治推進係
電話：22-4059 (コミュニティ創生課直通)
- 2 上浦振興局 電話：32-3111

【上浦地域】R5.10末現在(対前月)

- ・人口：1,610人 (▲7人)
- ・世帯：883世帯 (▲1世帯)
- ・高齢化率：55.65%